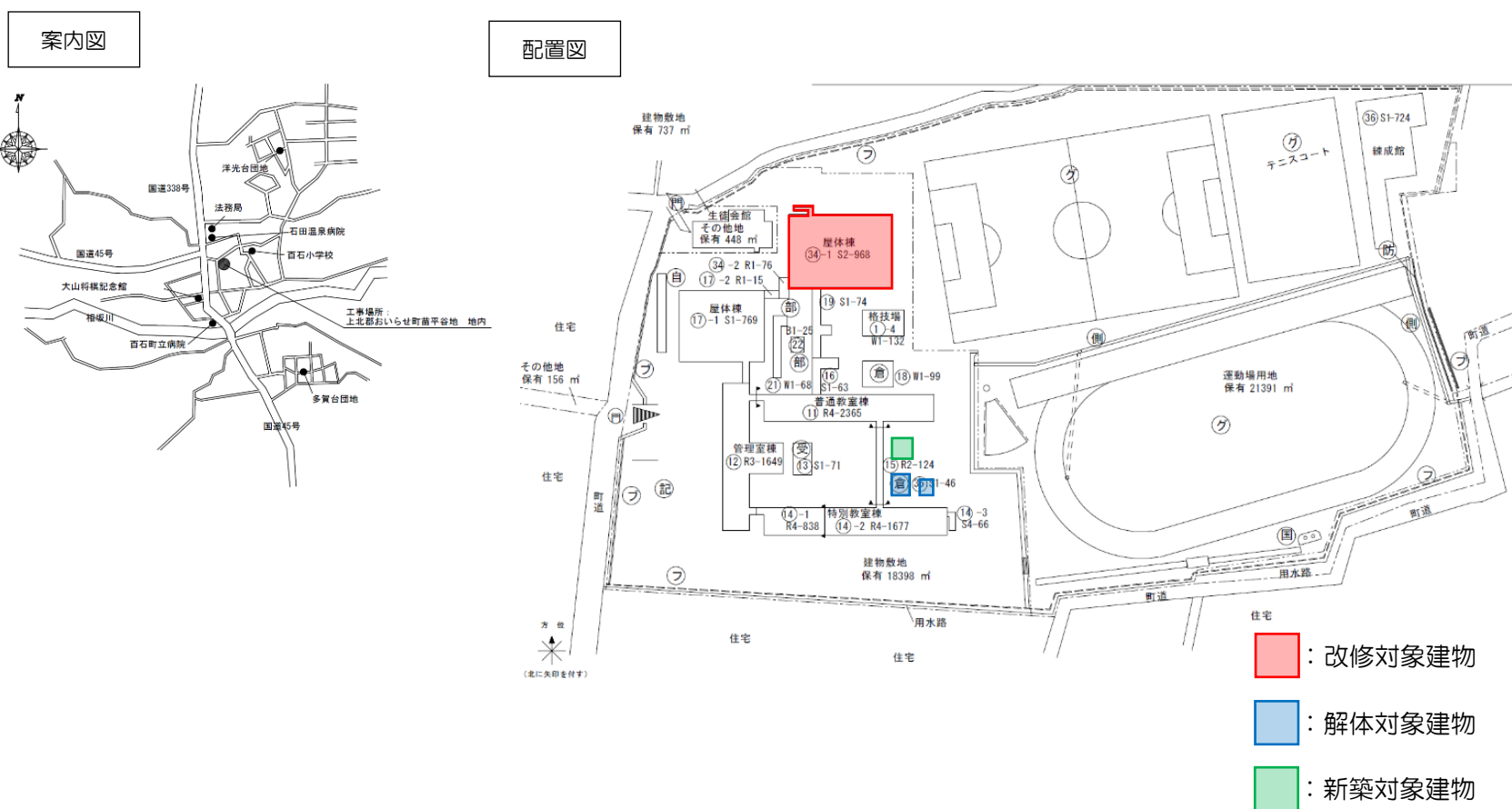


1 業務の目的

空調設備（エアコン）の新設、体育館の内・外部改修及び倉庫の解体・新設を行う。

2 業務対象施設について

【業務場所】 おいらせ町苗平谷地 地内



【敷地面積】 56,268 m²
【対象施設】 百石高等学校

3 業務内容

	室名等	業務概要																		
1	34 第一体育館	●空調新設設計 ・冷暖房新設 ●大規模改修（内部・外部）設計 （内部） <table><tr><th>部位</th><th>改修案</th></tr><tr><td>・床</td><td>（床下輻射式空調の場合）：既存フローリング床撤去シート系床材新設（下地共） （床下輻射式空調以外の場合）：現地調査の上 既存フローリング床材研磨塗装又は撤去新設を判断</td></tr><tr><td>・壁</td><td>既存仕上げのまま下地調整の上塗装新設</td></tr><tr><td>・天井</td><td>（ア リ ー ナ）：既存ウレタン吹付材の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと （アリーナ以外）：現地確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと</td></tr><tr><td>・鉄骨</td><td>塗装の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと</td></tr></table> （外部） <table><tr><th>部位</th><th>改修案</th></tr><tr><td>・屋根</td><td>（全 面）：高圧水洗浄、錆止め塗装の上カバー工法 （漏水対策）：リブ部の形状変更の要否判断</td></tr><tr><td>・外壁</td><td>（全 面）：塗装改修 （割れ部）：部分張替えの上塗装 （基礎部）：</td></tr><tr><td>・軒天井</td><td>既存撤去・新設</td></tr></table>	部位	改修案	・床	（床下輻射式空調の場合）：既存フローリング床撤去シート系床材新設（下地共） （床下輻射式空調以外の場合）：現地調査の上 既存フローリング床材研磨塗装又は撤去新設を判断	・壁	既存仕上げのまま下地調整の上塗装新設	・天井	（ア リ ー ナ）：既存ウレタン吹付材の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと （アリーナ以外）：現地確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと	・鉄骨	塗装の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと	部位	改修案	・屋根	（全 面）：高圧水洗浄、錆止め塗装の上カバー工法 （漏水対策）：リブ部の形状変更の要否判断	・外壁	（全 面）：塗装改修 （割れ部）：部分張替えの上塗装 （基礎部）：	・軒天井	既存撤去・新設
部位	改修案																			
・床	（床下輻射式空調の場合）：既存フローリング床撤去シート系床材新設（下地共） （床下輻射式空調以外の場合）：現地調査の上 既存フローリング床材研磨塗装又は撤去新設を判断																			
・壁	既存仕上げのまま下地調整の上塗装新設																			
・天井	（ア リ ー ナ）：既存ウレタン吹付材の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと （アリーナ以外）：現地確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと																			
・鉄骨	塗装の劣化・損傷状況確認の上改修の要否・改修工法の提案を行うこと																			
部位	改修案																			
・屋根	（全 面）：高圧水洗浄、錆止め塗装の上カバー工法 （漏水対策）：リブ部の形状変更の要否判断																			
・外壁	（全 面）：塗装改修 （割れ部）：部分張替えの上塗装 （基礎部）：																			
・軒天井	既存撤去・新設																			
2	35 倉庫 倉庫	●解体（2棟）設計 ・S造平屋建て46㎡程度 ・S造平屋建て10㎡程度 ●新築（1棟）設計 ・S造平屋建て50㎡程度																		

●空調新設設計

- (1) 避難所における最適な空調設備の空調方式について比較検討を行うこと。
(床下輻射式を含め比較検討を行うこと。)
- (2) 避難所における最適な空調設備の熱源について比較検討を行うこと。
(電気・ガス等を含め比較検討を行うこと。)
- (3) 上記(1)・(2)の結果を基に改修設計を行うこと。
- (4) 以下の注意事項に配慮し、設計業務を行うこと。

注意事項

- 注1 体育館のアリーナ機能(競技エリア)への影響は最小限とすること。
- 注2 室外機置場については、落雪等に配慮した位置・高さとすること。
- 注3 設計完了時点での室内機・室外機の納期について各メーカー等へ聞き取りを行い調査員へ報告すること。
- 注4 器具庫等の収納スペースが不足する場合においては、その対応について調査員及び施設管理者(学校)と協議を行うこと。
- 注5 本空調設備は停電時においても可動するものとすること。

●大規模改修(内部・外部)設計

- (1) 現状の調査を行うこと。
- (2) 上記改修案をベースに改修方法を調査員へ提案を行い、承諾を受けること。
- (3) 上記(1)・(2)の結果を基に改修設計を行うこと。